

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2014-173224

(P2014-173224A)

(43) 公開日 平成26年9月22日(2014.9.22)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
E O 4 G 23/02 (2006.01)	E O 4 G 23/02 E	2 E 1 7 6
E O 4 F 15/04 (2006.01)	E O 4 F 15/04 G O 1 A	2 E 2 2 0

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2013-43423 (P2013-43423)	(71) 出願人	512277183
(22) 出願日	平成25年3月5日 (2013.3.5)		佐藤 喜政
			宮城県仙台市若林区五橋3-1-3アップ ルタワーズ仙台ブローディアタワー111 5号室
		(71) 出願人	513054288
			金谷 真理子
			東京都杉並区永福2丁目22番17-20 1号ラコント永福
		(74) 代理人	100088096
			弁理士 福森 久夫
		(72) 発明者	佐藤 喜政
			宮城県仙台市若林区五橋3-1-3アップ ルタワーズ仙台ブローディアタワー111 5号室

最終頁に続く

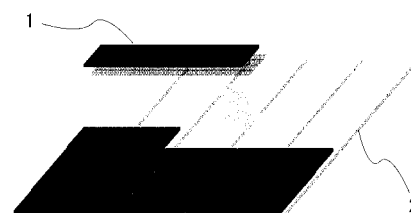
(54) 【発明の名称】 床材の施工方法

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 既存床に新規床材を極めて安価に張り付けることができ、かつ、張り替えなどのメンテナンス性に優れた床材の施工方法を提供する。

【解決手段】 既存床材2に新規床材1を上張りする工法であって、前記既存床材と前記新規床材とが変成シリコン接着剤を用いて接着し、前記既存床材の長手方向と、前記新規床材の長手方向を直交して貼り付ける。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

既存床材に新規床材を上張りする床材の施工方法であって、
前記既存床材と前記新規床材とが変成シリコン接着剤を用いて接着し、
前記既存床材の長手方向と、前記新規床材の長手方向を直交して貼り付けられる、
ことを特徴とする床材の施工方法。

【請求項 2】

前記新規床材の貼付け面は、塩化ビニール層、あるいはポリエチレン層、あるいはポリプロピレン層のいずれかの層を設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の床材の施工方法。

10

【請求項 3】

前記床面の素材は、既存フローリング、クッションフロア、塩ビタイル、長尺フロア、コルクタイルのいずれかの素材、あるいは複合された素材であることを特徴とする請求項 2 に記載の床材の施工方法。

【請求項 4】

前記新規床材は、サネを有しており、前記サネの長さが、3 mm 以上から 10 mm 以下の範囲であることを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の床材の施工方法。

【請求項 5】

前記新規床材は、サネを有しており、前記サネの長さが、4 mm 以上から 10 mm 以下の範囲であることを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の床材の施工方法。

20

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、床材の施工方法に係り、特に既存床上に重ねて張り付けるのに適する床材の施工方法に関する。

【背景技術】**【0002】**

従来、フローリングの貼り替え施工において、既存のフローリングを剥がし、根太に直接張り付けたり、ベニヤ等に張り付けたり、或いはコンクリートスラブに直接張り付ける直張り方法などが知られている。

30

しかしながら、上記工法は施工に工期と費用がかかり、さらに撤去した廃材を含む大量のゴミも出るため、コストの低減や環境への配慮から既存のフローリングに薄いフローリングなどを重ね張りする工法（上張り）が新たに知られるようになっている。

【0003】

ところが、上張り工法は既存のフローリング上に重ねて張り付けるため、下地となる床材の状態によっては、既存床材を剥がして施工する必要があるなどの問題もあった。

例えば、下地となるフローリングが経年劣化によってクッション材などが変形していた場合、その部分が不陸となり、デコボコになるなど仕上がりが悪くなる上に、床鳴りなどの原因になってしまうというものである。

また、既存フローリング床材に直接張り付ける場合に、ステープルなどの釘を用いた場合、既存フローリングが損傷し、次回の張り替えでは全面張り替えが必要になってしまうなどの問題もあった。

40

【0004】

特許文献 1 では、既存床材へ両面テープとステープルにより貼り付けを行う上張り工法が開示されている。このように、ステープルを用いる工法の場合、既存床材を著しく損傷するため、再敷設を行う場合、総張り替えを要するリスクが増大する問題がある。

【0005】

特許文献 2 では、既存床材と新規床材との間に下地部材を挟み、下地部材を介することによる歩行感の向上と、既存床材が有する不陸の問題を解消することを目的とした上張り工法が開示されている。

50

しかしながら、上記発明は下地材を敷設するなどの工程が必要となるためコスト増となり、既存床材に下地部材を敷設する際に用いる接着剤や両面テープによっては、数年後に再敷設をする際の撤去時に既存床表面を損傷する可能性があり、下地調整などに手間取り非効率になることから総張り替えの方が良いという結果になりかねない。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0006】

【特許文献1】特開2002-155617

【特許文献2】特開2012-246663

【発明の概要】

10

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

本発明は上記問題を鑑みて発明されたものであり、既存床に新規床材を極めて安価に張り付けことができ、かつ数年後の再敷設の際に張り替えなどのメンテナンス性も考慮に入れた床材の施工方法を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0008】

本発明の床材の施工方法は、既存床材に新規床材を上張りする床材の施工方法であって、前記既存床材と前記新規床材とが変成シリコン接着剤を用いて接着し、前記既存床材の長手方向と、前記新規床材の長手方向を直交して貼り付けられる、ことを特徴とする。

20

また、前記新規床材の貼付け面は、塩化ビニール層、あるいはポリエチレン層、あるいはポリプロピレン層のいずれかの層を設けられていることが好ましい。

さらに、前記床面の素材は、既存フローリング、クッションフロア、塩ビタイル、長尺フロア、コルクタイルのいずれかの素材、あるいは複合された素材であることが好ましい。

前記新規床材は、サネを有しており、前記サネの長さが、3mm以上から10mm以下の範囲であることが好ましく、4mm以上から10mm以下の範囲であることがより好ましい。

【発明の効果】

【0009】

30

本発明によれば、前記既存床材の長手方向と、前記新規床材の長手方向を直交して貼り付けられることにより十分な強度を得られ、さらに不陸の問題が解決されると共に、変成シリコン接着剤が既存床材の不陸の問題を解消し、床鳴りなどの不具合も防ぐことができる。また、変成シリコン接着剤はクッションの役目も果たすため、新規床材にクッション材を設けなくても歩行感が向上し、仕上がり感の良い床材の施工方法を提供することができる。

【0010】

また、本発明によれば、新規床材の貼付け面に、塩化ビニール層、あるいはポリエチレン層、あるいはポリプロピレン層を設けているので、貼り替え時に簡単に剥がすことが可能であり、再敷設を効率的に行うことが可能となる。

40

【0011】

さらに、本発明によれば、サネの寸法を調整することによって、接着剤がはみ出さない施工方法を提供できる。

また、施工途中で一部だけ抜き取らねばならない状況になっても容易に抜き取りを行うことが可能であり、隣接する床や既存床材を損傷するリスクも低減できる。

【0012】

本発明によれば、床材の床面に対する接着強度を強固にできると共に、床材を床面からはがすことが容易であり、床材の張り替え、修復、メンテナンスに適した床材の施工方法を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

50

【0013】

【図1】本発明の実施例1を示す図である。

【図2】本発明の実施例2を示す図である。

【図3】本発明の実施例3のフローリング床材の施工方法の図。

【図4】比較例のフローリング床材の施工方法の図。

【発明を実施するための形態】

【0014】

本発明の床材の施工方法は、既存床材の上に新規床材を貼り付ける工法であって、床材、特にフローリング床材の貼付け面に、塩化ビニール層、あるいはポリエチレン層、あるいはポリプロピレン層のいずれかの層を設け、変成シリコン接着剤を用いて、前記既存床材の長手方向と、前記新規床材の長手方向が直交するように貼り付けられることを特徴とする床材の施工方法である。

10

【0015】

ここで、前記床面の素材は、既存フローリング、クッションフロア、塩ビタイル、長尺フロア、コルクタイルのいずれかであることを特徴とする。

【実施例】

【0016】

本発明のフローリング床材の施工方法の実施例について、以下説明する。

【0017】

(実施例1)

20

図1は、本発明の実施例1のフローリング床材の施工方法の図である。

既存床材2の長手方向に対して、新規床材1の長手方向を直交させた上で、変成シリコン接着剤を用いて既存床材上に、新規床材（フローリング）1を合決りで敷設する。

【0018】

変成シリコン接着剤は貼付け面が水平になるように塗布する。

これにより、既存床材の不陸が解消され仕上がりがよくなり、変成シリコン接着剤はクッションの役目も果たすので、施工後の歩行感も向上する。

【0019】

また、施工途中で一部だけ抜き取らなければならない状況が起きた場合でも、両面テープやステーブルなどを使うのにくらべ容易に抜き取りを行うことができ、隣接する床や既存床材を損傷するリスクも少なくできる。

30

【0020】

(実施例2)

図2は、本発明の実施例2の、サネが形成されているフローリング床材の図である。

図2(a)は、フローリング床材11の一方向にサネ8が形成されている場合、図2(b)は、フローリング床材12の二方向にサネ81が形成されている場合である。

L_1 、 L_2 、 L_3 は、いずれもサネの長さ寸法である。

【0021】

L_1 、 L_2 、 L_3 は、3mm以上から10mm以下の範囲であることが好ましく、4mm以上から10mm以下の範囲であることがより好ましい。

40

サネの長さが3mm未満であると、変成シリコン接着剤が、はみ出ることがあり、またサネの長さが10mmを超えると、フローリング床材を修復のためはがす作業にて、フローリング床材が割れる場合がある。

【0022】

(実施例3)

図3は、本発明の実施例3のフローリング床材の施工方法の図であり、特にメンテナンスなどで張り替えを行う場合の実施例である。実施例3では、フローリング床材（下地）の上に、フローリング床材（上張り）を接着後に、前記フローリング床材（上張り）を剥がした後の状態である。ここで、前記フローリング床材（上張り）には塩化ビニール層が設けられており、また、フローリング床材（下地）と、フローリング床材（上張り）との接

50

着には、変成シリコン接着材を使用した。

【0023】

図3(a)は、剥がした後フローリング床材(上張り材)裏面の状態であり、フローリング床材(上張り)の裏面に塩化ビニールシート層があるため、接着剤がほとんど付着していない上に残った変成シリコン接着剤も容易に剥がすことができる。図3(b)は、フローリング床材(上張り)を剥がした後のフローリング床材(下地)の状態であり、残った変成シリコン接着剤は、容易に剥がすことが可能である。

なお、フローリング床材の裏面に用いる素材として塩化ビニール層の他に、ポリエチレン層、あるいはポリプロピレン層等が好適に用いられる。

【0024】

(比較例)

図4は、比較例のフローリング床材の施工方法の図である。比較例では、フローリング床材(下地)の上に、フローリング床材(上張り)を接着後に、前記フローリング床材(上張り)を剥がした後の状態である。ここで、前記フローリング床材(上張り)には塩化ビニール層は設けられておらず、また、フローリング床材(下地)と、フローリング床材(上張り)との接着には、変成シリコン接着材を使用した。

【0025】

図4(a)は、剥がした後フローリング床材(上張り材)裏面の状態であり、フローリング床材に直接、変成シリコン接着剤が残っているので、変成シリコン接着剤を剥がすことに手間を要する。図4(b)は、フローリング床材(上張り)を剥がした後のフローリング床材(下地)の状態であり、残った変成シリコン接着剤は、容易に剥がすことが可能である。

【産業上の利用可能性】

【0026】

本発明によれば、既存床に新規床材を極めて安価に張り付けることができ、かつ、張り替えなどのメンテナンス性に優れた床材の施工方法を提供することができる。

【符号の説明】

【0027】

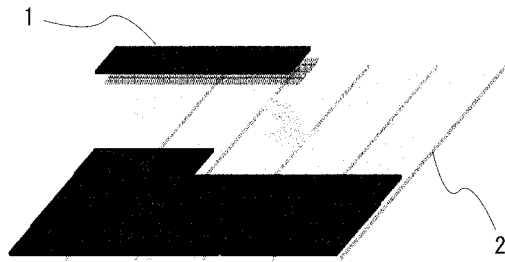
- 1 新規床材(フローリング床材)
- 2 既存床材
- 11, 12 フローリング床材
- 8, 81 サネ

10

20

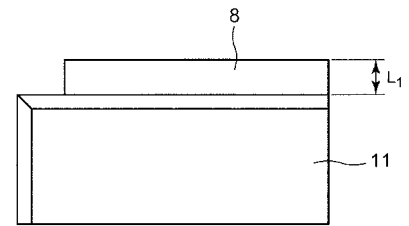
30

【図 1】

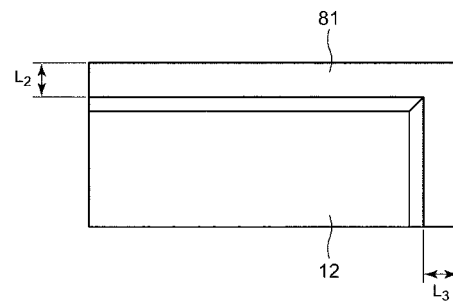


【図 2】

(a)

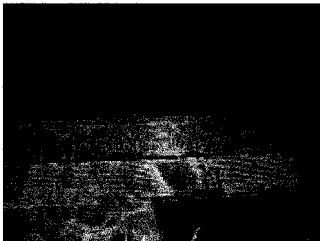


(b)



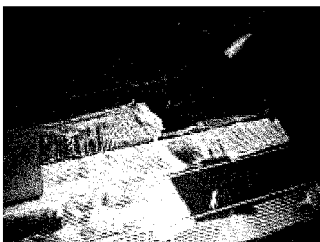
【図 3】

(a) 上張り材裏面



上張り材裏面が塩ビ加工されているため、容易に剥がすことができる

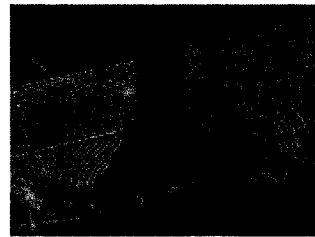
(b) 下地フローリング床材



下地表面に残った接着剤も、変成シリコンだから容易に除去できる。

【図 4】

(a)



上張り材裏面が合板だと、変成シリコンでも引っ張られて裏面が残ってしまう。

(b)



下地表面に残った接着剤は、変成シリコンだから除去は簡単。

フロントページの続き

Fターム(参考) 2E176 AA03 BB23 BB29

2E220 AA29 AA39 AB06 AC01 BA01 CA10 DA02 DA13 DB02 GA24Y

GA25X GB43X